

令和7年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
外国語	英語コミュニケーションⅡ (G)	2	2-1

1. 学習の到達目標

- *英文法の基本事項を学び、話す・聞く・読む・書くといった4技能の基礎を養うことができる。
- *使える英語を意識した演習を行い、自分自身や身近な話題について英語で表現できる。
- *基本的な文法項目に加え発展問題に触れ、将来に役立つコミュニケーション力を備えることができる。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> *Pre Lesson1 文の種類 *Pre Lesson2 動詞の形の変化 *Lesson1 現在時制、過去時制 *Lesson2 未来時制 *Lesson3 完了形（I） *Lesson4 完了形（II） 	<ul style="list-style-type: none"> *付加疑問文、否定疑問文を理解する。 *動詞の変化表を覚えて、使えるようになる。 *一般動詞（現在形、過去形）、現在進行形、過去進行形を学ぶ。 *英語で未来のことを表現できるようになる。 *現在完了形、過去完了形を学ぶ。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> *Lesson5 助動詞（I） *Lesson6 助動詞（II） *Optional Lesson 1 *Lesson7 受動態（I） *Lesson8 受動態（II） 	<ul style="list-style-type: none"> *助動詞の種類を覚えて、英文を理解し、実際に使えるようになる。 *文の型を理解する。 *受動態の文を理解して、さまざまな種類の受動態を学ぶ。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> *Lesson9 不定詞（I） *Lesson10 不定詞（II） *Lesson11 不定詞（III） *Lesson12 動名詞 	<ul style="list-style-type: none"> *不定詞の基礎を学び、使い分けができるようになる。 *不定詞を使った重要表現を理解する。 *動名詞を理解し、不定詞と照らし合わせて学ぶ。

3. 評価方法・評価の観点

評 価 方 法	定期考査、提出物、授業態度などの総合評価
---------	----------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題など、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細などを的確に理解しこれらを活用して適切に表現している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	LEARNERS' ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES (数研出版)
副 教 材	WORKBOOK for LEARNERS' ENGLISH GRAMMAR (数研出版) チャート式 LEARNERS' (数研出版) 辞書 (ニュービクトリー・アンカー)